

広島県中小企業団体中央会 2016年5月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

5月の出荷量は前月比2.9%減少、前年同月比2.4%減少、売上高は前月比3.9%減少、前年同月比2.2%減少となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成28年4月の全国の住宅着工戸数は82,398戸で、前年同月比では9.0%増加、また、季節調整済年率換算値では99.5万戸（前月比0.2%増加）となった。利用関係別では、持家は23,567戸で前年同月比1.2%増加、貸家は35,504戸で前年同月比16.0%増加、分譲住宅は23,029戸で前年同月比9.0%増加となった。なお、木造住宅の着工数は44,091戸で、前年同月比8.1%増加となった。

住宅着工の動向は、一昨年4月の消費税増税前の駆け込み需要の影響から持ち直しが見られた後、前年同月比で横ばい傾向であったが、直近では4ヶ月連続の増加となった。引き続き、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の着工戸数は1,514戸で前年同月比6.5%の増加となった。このうち、持家は453戸で前年同月比3.9%の増加、貸家は488戸で前年同月比12.9%の減少、分譲は565戸で前年同月比37.1%の増加となった。地域別では、福山市は着工戸数361戸で71.9%増加、東広島市は着工戸数89戸で1.1%増加、廿日市市は67戸で3.1%増加となる一方、広島市は着工戸数697戸で7.6%減少、呉市は着工戸数63戸で24.1%減少となるなど、地域間でばらつきがある。会員によって、売上、採算、引合い等に好不調の差があるようであり、依然経営状況は厳しいとの声も多く、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

住宅着工が伸びず、厳しい状況である。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

アベノミクスによる様々な経済対策にもかかわらず、国内の景況感の改善は見られず、特に自動車業界においては、自動車メーカーの好決算に対して部品メーカーは国内生産台数の減少、プライスダウン要請、ベースアップを含む労務費アップに労働人口の減少が加わり、大変厳しい状況にある。最近の株価や為替の動向も大変不透明で、円高傾向が続けば輸出台数にも影響が出始め、さらなる生産台数の減少につながる可能性がある。また、三菱自動車の問題も長引けば日本経済の減速を招きかねず、今後消費税率10%への引き上げが実施されるのかも不確実になってきた中で、経済の先行きに不安感が強まってきている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、全体的に各社横ばいの傾向にある。また、自動車関連企業の5月の売上高は、連休による稼働日数の減少により、減少傾向である。

今後、原油価格の上昇や円安傾向が強まると、原材料価格が上がることを懸念している。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

28年5月 2,780m³ (対前年3.6%増加)

28年4月 3,060m³

27年5月 2,684m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

明るい話が全く聞こえてこない。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区は、コンプレッサー及び製鉄関係は通常の操業状態まで回復した。江波地区は、航空機ボーイング社向け胴体パネルの組み立て範囲が広がり、協力会社各社の操業は高い状態が続いている。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、新規設備案件が減っており、前月比10%減少、前年同月比2%減少となった。

電気機器

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、少し生産が停滞気味であるのと、ゴールデンウィークがあったため、前月比3%減少、前年同月比2%減少となった。輸出物件が多少動いており、国内はスマートメーター以外横ばい傾向にある。

最低賃金の上昇が、経営を圧迫している。取引先に価格交渉はしているが、難しいようである。中小企業施策への更なる充実を望む。

輸送用機器

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

5月の国内自動車販売台数は全需が332千台、前年同月比1.2%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。登録車は前年比6.6%増加と2ヶ月連続の前年超え、軽自動車は14.3%減少と17ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車は32.7%減少と8ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの4月の全需は1,507千台で前年同月比3.6%増加と3ヶ月連続の前年超え。マツダ車も同8.6%増加と4ヶ月振りの前年越えとなった。

欧州の4月の全需は1,500千台で、前年同月比6.7%増加と4ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車も同18.8%増加と11ヶ月連続の前年超えとなった。

中国の4月の全需は2,122千台で、前年同月比6.5%増加。マツダ車は4.1%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の4月の海外販売合計台数は107千台、前年同月比6.6%増加と2ヶ月振りの前年越えとなった。

マツダの4月の輸出動向については、輸出台数は、前年比18.6%増加と2ヶ月振りの前年越え

となった。

マツダの4月の国内生産台数は、前年同月比17.2%増加と11ヶ月連続の前年超えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成28年5月の船舶建造許可実績は6隻256,350総トン（前月5隻373,600総トン、前年同月2隻178,900総トン）であった。なお、全てが貨物船で輸出船となっている。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

原材料高騰により、収益性が悪化している。しかし、輸入関連企業は円高により、収益性は改善しているようである。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

4月後半より受注が下降気味である。好調のベッドもやや減少傾向、リビング、ダイニングは前年割れとなり、全体でもなんとか前年同月比と同程度を維持している。6,7月には参院選を控えており、以前より国政選挙が決まると1ヶ月あまり売れ行きが悪く、原因は不明であるが苦戦が予想される。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

大手企業を中心に、企業業績は概ね安定し、倒産件数も減少するなど、景気は安定しているように見受けられる。しかし、消費税率引上げの延期が円高を助長し、輸出関連企業はやや業績の悪化が懸念される。中小卸売業者は、依然消費に勢いがいないとのコメントが多く聞かれる。「資材関連」においては、来年の消費税率引上げを見込み、駆け込み需要を期待していたが、延期により、今年度の見通しはやや厳しい。

「食品」においては、熊本地震の影響かどうかは不明であるが、5月の連休明けから消費が低迷している。

「繊維」においては、地方の小売店は最低賃金が上がれば負担感が大きく、福利厚生費等企業の負担も多くなるため、販売先小売店が売り場従業員を減らしているとのことである。母の日の需要が低迷し、5月の販売は前年割れとなった。

「雑貨」においては、生活雑貨の売上げは、弱含みで推移した。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

業界の景況感にやや陰りが感じられる中、マイナス金利の影響を受け、新築住宅工事が3ヶ月連続で増加している。このことから、今後の予測として、住宅関連商材が増加傾向にあり、省エネ商材を中心に提案、増販に努めていきたい。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国内産藁草は順調に生育しているようである。一方、価格は一時的に上昇したものの現在は横這いの状態で推移している。

中国産藁草では、すでに先刈りを大多数の工場が終え、収穫を間近にしている。価格は横這いで推移している。今後、新草の収穫状況や量により変動もありえるとしている。

国内では、各地での新作展示会や総会も一段落している。消費は依然として伸び悩んでいる。時期的要因で、やむおえない状況もあるが、今後に期待している。

小売業

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合

5月の売上は、前年比減少、前月比増加となった。規模は小さいが、新規の販売先を獲得できたことにも起因している。4月の熊本地震の影響で、熊本県産の商品や救援物資として最優先される水や米等は、価格面で特売条件がなくなったりしており、店頭での販売価格訴求が困難となったことや、一部品切れなどにより売上は伸び悩んだ。

協同組合三次ショッピングセンター

去年は、プレミアム付き商品券の発行により、売上が増加しており、今期は対前年比大幅な減少となった。近隣に大手ドラッグストアがオープンし、競合店が増加した。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

5月度の販売実績は前年同月比8.2%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比6.5%減少、BDレコーダー同19.9%減少、音響・車載機器同30.7%減少、冷蔵庫同5.1%減少、洗濯機同8.5%減少、エアコン同0.9%増加、エコキュート同3.3%減少、IHクッキングヒーター同3.8%減少となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

空き店舗2店舗の再利用に関し、出展に伴う組合賦課金、アーケード維持管理費等の問い合わせが不動産会社よりあったが、その後具体的な成約などの情報は今のところ入ってきていない。

4月に行われた中央地区活性化会議の立ち上げ準備の初会合で提案があった夏の土曜夜市の中央地区商店街での同一開催に向けて、本通商店街青年部を中心にその企画・予算案の検討を始めた。6月の理事会で諮る予定である。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比19.4%減少、前年同月比2.2%減少。車検場収入は前月比16.4%減少、前年同月比2.2%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比2.7%減少、前年同月比0.5%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

材料の値上げはなかったものの、大型物件は材料支給があり、収益性は低下している。

●情報サービス

(社) 広島県情報産業協会

慢性的にIT技術者が不足している。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

5月の売上については、前月比48%増加、前年同月比10%増加となった。

前月比で見るとカーテン工事が2%増加、敷物工事は35%増加、壁装工事は103%増加といずれも増加となった。

前年同月比では、カーテン工事は33%減少、敷物工事は9%増加、壁装工事は78%増加と特に壁装工事は大幅な増加となった。

工事物件全体では、カーテン工事が22%減少、敷物、壁装工事はほぼ前年並みで推移した。前月比では大きく増加したが、前年累計では減少となっており、依然として企業間格差は大きい。現状、未だ内装業界全般に人手不足の状態が続いている。

神辺建設業協同組合

新年度になり、まだ官公庁を中心とした工事案件の発注は乏しく、前年度の官公庁発注の繰越工事と民間工事で各社繋いでいるが、苦慮している。早期の工事発注が望まれる。

福山地区電気工事業協同組合

5月における工事受注件数は、前月比79.6%増加、前年同月比26.2%増加となった。

電力小売全面自由化に伴う新電力参入企業も少ないが、首都圏を中心に、大都市は新電力への登録が数十万件となっており、地方との格差が大きいのが現状である。なお、電化住宅の新築・リフォームは新料金プランがテレビCM等により浸透しつつあるのか、若干増加傾向にある。

運輸業

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

5月はゴールデンウィークの影響で休日が多く、稼働日数が少ないため、売上高は毎年、前月比減少となるところが多い。しかし、今年は4月上旬の貨物量が伸び悩んだため、前月比変化なしとなったところが多かったようである。

軽油価格は、大きな変動はないが小幅の価格変動があり、今後もこの傾向は続く見通しである。事業コストの中で、大きなウエイトを占める軽油価格の安定化が望まれる。

広島県ロジネット協同組合

5月の荷動きは、前年同月比1割程度減少となった。例年5月は、月初めが一番に動きが多く、月末にかけて徐々に減少していく傾向があり、今年もその傾向はかわらなかったようである。その要因として、鉄鋼関連は、各メーカーとも減産傾向をみせており、国内・海外輸送は芳しくない。また、飲料・食料品においても、軒並み動きがよかったとはいえない。

軽油価格は、値上げの方向に動いている。5月の上げ幅としては1.2円/L程度といった様子であるが、6月には5円/L以上の大幅な値上げが予想されている。市場の動きを国内メーカーが抑えていた感じは見受けられるが、そろそろ抑えがきかない状態となってきたようである。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比は、公的評価報酬がなくなった分、売上高、収益状況が悪化している。前年同月比については、特に変化はない。

不動産価格については、市中心部の収益性の高い地域での高価格取引が多い。